

レーザー機器使用届出書

年 月 日

福岡市民ホール 様

届出者(主催者)

所在地(住所)_____

団体名(氏名)_____

代表者名_____印

電話番号_____

日 時	年 月 日 時 分～ 時 分			
公 演 名				
設 置 の 理 由				
設 置 場 所	(舞台図面を添付すること)			
機 器 名 (形式・形状・規格)	(使用機器の製品仕様書を添付すること)			
レーザー 安全管理責任者	氏 名	年 齢 才		
	住 所	電 話		
	所 属 団 体 名			
	LASA 会員番号	(会員証コピー添付)		
操 作 員 氏 名	氏 名	年 齢 才	氏 名	年 齢 才
	所属名		所属名	
	氏 名	年 齢 才	氏 名	年 齢 才
	所属名		所属名	
<u>使用条件</u> <ul style="list-style-type: none">● レーザー機器を使用する際は、LASA 安全基準・JIS 規格(レーザー製品の放射安全基準)・全国公立文化施設協会の定める安全基準を遵守して行って下さい。● 本設置の使用については、レーザー機器使用事項に基づいて適切に行い、その機器の使用が不適当な場合は、施設管理者の指示に従い直ちに使用を停止して下さい。● クラス 3 以上のレーザー機器を使用する際には「レーザー安全管理責任者」を設置し、その管理の元、運用を行って下さい。● レーザー機器の使用により、当ホールの機材、機構、設備等に損害が生じた場合は、修理又は購入にかかる費用を負担して頂く場合が御座います。● 客席への設置、ITV カメラ、暗視カメラのレンズへの照射は禁止とします。		機器を使用するに当たっては、安全に十分注意し、左記の事項を遵守するとともに、指示に従うことを誓約します。 氏名_____印 所属_____		

レーザー機器使用における留意事項

レーザー機器をホール(舞台)で使用する際は、LASA 安全基準・JIS 規格(レーザー製品の放射安全基準)・全国文化施設協会の留意事項及び下記事項を順守の上、行って下さい。

1. 書類の提出

レーザー機器を使用する際は、使用するクラスに関係なく以下の書類を事前に提出して下さい。

- ①レーザー機器使用届出書
- ②図面(設置個所・照射位置)
- ③使用タイムスケジュール

2. レーザー機器のクラス表示について

下記に記載されている分類表に従い、該当する危機に応じた警告ラベル及び説明ラベルが必ず添付されたものをご使用ください。

＜クラス分類表＞

クラス	出力	危険度	添付ラベル
クラス 1	0.39 μ W	合理的に予見可能な条件下で安全。	説明ラベル
クラス 1M	以下	使用者が光学器具を用いた場合に危険になり得る点を除いて、クラス 1 に同じ。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス 2	1mW 以下	低パワー。通常、まばたきなどの嫌悪反応によって目は保護され、安全。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス 2M		使用者が光学器具を用いた場合に危険になり得る点を除いて、クラス 2 に同じ。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス 3R	5mW 以下	直接ビーム内観察は危険になることがある。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス 3B	0.5W 以下	直接ビーム内観察は通常において危険である。	警告ラベル及び説明ラベル
クラス 4	0.5W を超える	高パワー。拡散反射も危険になることがある。場合によっては火災の危険性が伴う。	警告ラベル及び説明ラベル

3. レーザー安全管理責任者の設置

クラス 3 以上のレーザー機器を使用する際には「レーザー安全管理責任者」を設置し、その管理のもとで、運用を行って下さい。

4. レーザー機器の設置及び使用について

レーザー機器を舞台またはその他の場所へ設置する場合は、次の事に留意して使用してください。

- ①観客及び関係者に向けたレーザー光線の照射はしないでください。
- ②防犯カメラ・ITVカメラに向けた照射はしないでください。万一ホール内のカメラに破損が認められた場合、原状復帰の為、修繕または新規購入の費用をご負担いただくことがあります。
- ③レーザー機器や反射拡散ミラー等の設置は、十分に安全と思われる位置に堅牢に設置し確実に固定してください。
- ④レーザー機器と観客との間に一定の距離を確保してください。*客席内への設置は認めません。
- ⑤出火の原因となるため、舞台幕類への静止照射や直接光照射は行わないでください。
- ⑤レーザー機器の設置・設定後、改めて観客及び関係者に照射が行われていないか確認・点検の上、必ず安全措置を取ってください。